

## 平成 28 年度

### 社会福祉法人大阪市西淀川区社会福祉協議会 事業報告 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

## 1 法人運営の強化

### (1) 組織の強化

#### ①理事会・評議員会等の開催

##### (ア) 理事会

[平成 28 年 5 月 17 日] 13 名出席

- ・評議員の選任について

[平成 28 年 5 月 26 日] 11 名出席 (書面 1 名)

- ・平成 27 年度事業報告 (案) について
- ・平成 27 年度決算報告 (案) について

[平成 28 年 6 月 1 日] 13 名出席 (書面 2 名)

- ・会長・副会長及び会長職務代理者の選任について

[平成 28 年 11 月 30 日] 11 名出席 (書面 3 名)

- ・定款変更 (案) について
- ・諸規則の改正 (案) について

[平成 29 年 1 月 31 日] 11 名出席 (書面 2 名)

- ・評議員選任・解任委員会運営規程 (案) の制定について
- ・評議員選任・解任委員の選任について
- ・理事・監事選任規程 (案) の制定について
- ・評議員選任規程 (案) の改正について
- ・評議員選任候補者の推薦及び解任 (案) について

[平成 29 年 3 月 29 日] 11 名出席 (書面 4 名)

- ・定款変更 (案) 及び諸規程の変更 (案) について
- ・平成 28 年度補正予算 (案) について
- ・平成 29 年度事業計画 (案) について
- ・平成 29 年度事業予算 (案) について

##### (イ) 評議員会

[平成 28 年 5 月 26 日] 27 名出席

- ・理事・監事の選任について
- ・平成 27 年度事業報告 (案) について
- ・平成 27 年度決算報告 (案) について

[平成 28 年 11 月 30 日] 27 名出席

- ・定款変更（案）について
- ・諸規則の改正（案）について

[平成 29 年 3 月 29 日] 27 名出席

- ・理事の一部選任（案）について
- ・定款変更（案）及び諸規程の変更（案）について
- ・平成 28 年度補正予算（案）について
- ・平成 29 年度事業計画（案）について
- ・平成 29 年度事業予算（案）について

### (ウ) 評議員選任・解任委員会

[平成 29 年 2 月 28 日] 外部員 2 名、監事 2 名、事務局員 1 名出席

- ・評議員 38 名の選任

## ② 会員組織の充実と会員の募集・拡充

現会員に引き続き周知し、賛助会員へもイベント等を通じて募集を行い、新規会員の拡充に努めた。

組織構成会員	1 2 団体	
賛助会員	9 団体	5 人

## (2) 善意銀行の運営

住民の善意を福祉向上に役立てるために善意銀行を運営し、区内の住民等への情報発信、啓発活動を実施した。また、善意銀行運営委員会を開催し、各申請団体に対し助成を行った。

### 善意銀行運営委員会の開催

[平成 28 年 5 月 26 日]

- ・平成 27 年度 善意銀行収支報告について
- ・平成 28 年度 善意銀行特定テーマ払出「福祉ボランティア活動応援資金」申請団体について  
※5 団体に払出決定

[平成 28 年 11 月 30 日]

- ・母子家庭への歳末見舞品贈呈について
- ・歳末助け合い運動実施資金について  
※2 団体に払出決定

## (3) 共同募金並びに日赤業務への連携・協力

### ① 共同募金の有効な運用と運動への協力

大阪府共同募金会より平成 28 年度共同募金配分金（平成 27 年度募金による）として 2,319,139 円の配分を受け、区内福祉活動の充実を図るべく関係団体に配分すると共に、「区社協だより」を発行し広報啓発活動に取り組んだ。

また、平成 28 年 10 月 1 日～12 月 31 日の間、平成 28 年度（第 70 回）「赤い羽根共同募金運動」に街頭募金活動を行った。

- ・金婚夫婦お祝い品の贈呈（171組）
  - ・各地域社会福祉協議会
  - ・区老人クラブ連合会
  - ・区民生委員児童委員協議会
  - ・区体育厚生協会
  - ・区手をつなぐ親の会
  - ・NPO 法人 にしよどにこネット
  - ・特定非営利活動法人いきいき
  - ・区障がい者地域自立支援協議会
- 平成 28 年度 西淀川区一般募金実績額 4,004,727 円

## ②日赤業務への協力

日本赤十字社大阪府支部並びに区奉仕団の社資募集業務等に協力した。

## （４） 広報啓発活動の推進

### ①社協活動の広報

（ア）区社協だよりの発行（年 2 回）

- ・平成 28 年 8 月 第 57 号発行
- ・平成 29 年 1 月 第 58 号発行

（イ）SNS の活用

ホームページ、フェイスブックやツイッターにより、区社協事業等について、適時新たな情報や報告を掲載し、広報啓発活動の充実を図った。

（ウ）区社協キャラクター「ふくふ君」の活用

区社協をより身近に感じてもらい、気軽に相談してもらえるよう、イベント等において区社協キャラクター「ふくふ君」による周知を実施した。

（エ）広報委員会の開催

各部署より広報担当を選出し、区社協事業の効果的な発信を検討するための「広報委員会」を毎月開催した。この広報委員会より、区社協キャラクター「ふくふ君」が作成されることとなった。

### ②区民まつりへの参加

[平成 28 年 9 月 15 日]

- ・区社協事業の広報活動（社協パンフ及び各事業チラシ 200 部の配布）
- ・社協の名前入りのうちわや缶バッジの作成ブース出店

## 2 地域福祉活動の推進

### （１） 地域福祉活動の推進

#### ①地域社会福祉協議会への支援

地域社協委員長会の開催

[平成 28 年 6 月 27 日]

- ・地域社協事業運営費等助成について
- ・金婚夫婦の調査について

- ・組織構成会費について
- ・区社協の事業紹介について「子ども・子育てプラザ」
- ・その他 地域福祉活動支援コーディネーター配置について  
地域福祉推進ビジョンについて  
地域社協名簿の提出について

## ②地域福祉活動への支援

地域が展開する福祉の推進を目的とする活動へ参画し、活動状況の把握及び活動者への助言・指導等を行った。

- ・ふれあい型食事サービス活動への参画（71回）
- ・ふれあい喫茶活動への参画（64回）
- ・子育てサロン活動への参画および支援にかかる保育士派遣調整（14回）
- ・地域活動協議会の福祉分野を含むまちづくり活動（納涼会・敬老会・運動会）への参画（28回）

## ③地域福祉活動の促進

### （ア）地域福祉活動連絡会の開催

各地活協における地域福祉分野の活動を円滑かつ効果的に実施するための支援として、区役所と合同事務局を担い課題解決のための連絡会を開催した。

[平成 28 年 5 月 12 日]

- ・地域福祉活動について  
西淀川区地域福祉推進ビジョンについて
- ・地域福祉活動の情報共有

[平成 28 年 7 月 14 日]

- ・地域福祉活動について  
テーマ：障がいに関する相談支援について  
講師：区障がい者相談支援センター 風の輪
- ・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業について

[平成 28 年 9 月 8 日]

- ・地域福祉活動について  
テーマ：認知症初期集中支援推進事業について  
講師：南西部地域包括支援センター
- ・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業について

[平成 28 年 11 月 10 日]

- ・地域福祉活動について  
西淀川区地域福祉推進ビジョン周知のためのグループワーク
- ・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業について

[平成 29 年 1 月 12 日]

- ・地域福祉活動について  
テーマ：西淀川区の多文化共生について～共にささえる地域づくり～  
講師：京都府立大学京都政策研究センター  
NPO 法人多文化共生センター大阪

[平成 29 年 3 月 9 日]

- ・地域福祉活動について  
テーマ：高齢者福祉にかかる制度について  
緊急通報システム事業の紹介  
敬老優待乗車券の使い方について  
介護用品支給について

養護老人ホームについて  
介護予防・日常生活支援事業について  
介護予防教室について

- ・ 日常の地域活動（高齢者支援）でのお困りごとについてのグループワーク

#### (イ) 社会福祉講演会の開催

[平成 28 年 2 月 18 日] 230 人参加

第 1 部 ドキュメンタリー映画「徘徊ママリン 87 歳の夏」

ミニ講演会（酒井章子氏）

第 2 部 ふくふくオレンジトーク

ファシリテーター

鈴木大介さん（甲南女子大学准教授）

パネリスト

藤井己代さん（佃連合振興町会女性部長）

中嶋一美さん（川北連合振興町会女性部長 民生委員長）

伊原享子（竹島地域活動協議会 地域福祉活動支援コーディネーター）

松原有告（見守り相談室管理者）

[平成 28 年 2 月 25 日] 110 人参加

ドキュメンタリー映画「徘徊ママリン 87 歳の夏」

#### (ウ) 地域支援システムの再構築及び専門部会・個別課題検討・各種会議への参画

- ・ 区要保護児童対策地域協議会、区障がい者・高齢者虐待防止連絡会、区障がい者地域自立支援協議会への参画（11 回）
- ・ 地域ケア会議（地域課題整理のための会議含む）への参画（7 回）
- ・ 地域支援システム等の検討や連絡調整会議への出席（4 回）

#### (エ) 区地域福祉推進ビジョン推進会議開催及び周知イベントへの参画

地域福祉推進ビジョンの周知及び浸透を目的に、区役所と合同事務局を担い推進会議を開催し、また周知のために区内のイベントへ参画した。

- ・ ビジョン推進会議の開催（6 回）
- ・ ビジョン周知のためのイベント参画（3 回）

### ④各種団体・関係機関・施設との連携・強化

#### (ア) 区社会福祉施設連絡会における総会、研修会及び全体会への参画

[平成 28 年 7 月 27 日]

総会

- ・ 平成 27 年度事業報告、決算報告について
- ・ 平成 28 年度事業計画、予算（案）について

研修会「西淀川区内の防災の現状について&ワークショップ」

講師 西淀川区役所 職員

[平成 29 年 2 月 18 日]

社会福祉講演会の参加

[平成 29 年 3 月 10 日]

基調講演「地域における社会福祉施設の役割」

講師 大阪府立大学 教授 小野 達也氏

実践報告会 社会福祉法人 山王みどり会の取り組みから

阿倍野区社会福祉施設連絡会及び施設の取り組みから

#### (イ) 区子育て支援連絡会

区内における子育て支援にかかる活動の連携及び活性化を図ることを目的

に、定例会議等を開催した。

- ・区子育て支援連絡会（12回）
- ・児童対象絵本展実行委員会（7回）
- ・子育てを応援する担い手育成・地域連携事業（防災カフェ）
- ・区子ども読書活動推進連絡会議

[平成28年11月19日・11月20日]

- ・乳幼児・児童対象「えほん展 ふわふわ」の共催

#### (ウ) ふくふくミニまつりの開催

[平成28年11月5日] 約700人参加

区社協事業をより多くの区民に知っていただくとともに、地域福祉に取り組む団体・関係機関と区民との交流やつながり作りの機会として開催。

#### (エ) まるごとネット（旧四者連絡会）

区内の子育て、子ども、障がい、高齢の各分野で活動している団体が集まり、各分野の情報共有及び横のつながりの強化を図る目的として開催。（4回）

### ⑤災害対策における学習会及び訓練の実施

災害発生時、区社協として災害対策本部の立ち上げや区災害ボランティアセンター、福祉避難所の開設、利用者の安否確認等の対応が求められる。

平成28年度は、行政や区内の福祉避難所との円滑な連携、災害時における区社協の役割の理解を深めるため意識的に取り組んだ。

また、社協職員の資質向上のために大阪府内の災害に関する学習会等研修、他区の災害ボランティアセンターの運営訓練等の見学や、館内デイサービスセンターより火災が発生したことを想定し、利用者安否確認や消防訓練に取り組んだ。

[平成28年7月7日]

- ・災害支援ネットワーク：プレゼン大会

[平成28年8月27日]

- ・都島区社会福祉協議会災害ボランティアセンター運営訓練見学

[平成28年12月7日・平成29年1月10日、2日6日、2月16日]

- ・福祉避難所連絡会
- ・福祉避難所合同訓練ボランティア事前レクレーション
- ・福祉避難所合同訓練

[平成29年3月7日]

- ・災害ボランティアセンター運営者研修

[平成29年3月31日]

- ・区社協防災訓練

### ⑥防災（減災）への活動支援

#### (ア) 区内一斉避難訓練への参画

[平成29年1月29日]

#### (イ) 災害時要援護者支援推進会議

[平成29年3月23日]

### ⑦福祉教育の充実

小・中学校等で、車いす体験・アイマスク体験及び当事者を交えた学習会を通して、障がい者理解啓発について取り組むと共に、福祉教育に関する物品を広く貸し出し、福祉教育の推進を図った。

## (ア) 福祉教育

[平成 28 年 11 月 25 日・29 日、12 月 8 日・12 日]

- ・佃西中学校 3 (71 人)・4 年生 (83 人) アイマスク体験及び障がい当事者の講話

[平成 28 年 12 月 7 日]

- ・佃中学校 1 年生 (187 人) 車いす体験及び障がい当事者の講話

[平成 29 年 1 月 31 日]

- ・姫里小学校 3 年生 (64 人) 車いす体験及び障がい当事者の講話

[平成 28 年 7 月 23 日]

- ・認知症サポーター養成講座(小学年生とその保護者)

## (イ) 物品の貸出し

- ・車いす、段差の板等 (8 回)

## ⑧キャラバン・メイト連絡会の開催

区内における認知症サポーター養成講座の講師役 (ボランティア) のメンバーの連携及び認知症の正しい理解促進を図ることを目的に連絡会を開催した。

- ・連絡会 (8 回)
- ・認知症サポーター養成講座の開催 (17 回)

## ⑨大型遊具貸出事業

地域における子育てサロン活動等の支援として大型遊具の貸し出しを行った。

- ・大型遊具貸出 (計 5 回)

## ⑩車いす貸出事業

日常生活において、一時的に車いすが必要となった方に 1 週間以内無料貸し出しを行った。(204 件)

## ⑪ハチ食品寄付物品払出事業

区内に本社を置く「ハチ食品株式会社」よりレトルト食品の寄付を定期的にいただいている。寄付食品は生活困窮者や地域イベントなどに払出をしている。

寄付数	払出数
3713 個	116 件

## ⑫生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者または高齢者の世帯を対象に、資金制度の相談窓口としてさまざまな生活課題を抱える人たちに対して、相談支援を行った。

### 相談・申請受付件数

福祉資金・教育支援資金			総合支援資金		
電話相談	窓口相談	申込書配付	電話相談	相談窓口	申込書配付
337 件	215 件	133 件	26 件	18 件	13 件

### 3 ボランティア・市民活動センターの運営

#### (1) ボランティアに関する相談支援及び活動の登録・需給調整

##### ①個人登録、ボランティアグループ登録者数

個人登録数	グループ登録数
196人	29グループ

##### ②ボランティア保険の受付件数

活動保険	行事保険	非営利有償活動団体保険
109件	168件	1件
1,245人	8,132人	17人

#### (2) ボランティア・NPOグループの支援

##### ①西淀川区ボランティア・市民活動センター関係団体連絡会

登録ボランティアグループが集まり、困っていることなどを共有し課題の解決をめざすことを目的に開催。困っている内容は「活動の担い手不足」「担い手の集め方（広報）が分からない」といった共通課題があった。（3回）

##### ②登録グループ活動支援

###### 《登録グループ一覧》(29グループ)

①オカリーナHiro	②おはなしボランティアパタポン	③福町なごみクラブ	④にしよどおやこ劇場
⑤サンドイッチ	⑥夢、ゆめ仲間	⑦こども食堂にしよどくる	⑧西淀病院ボランティア
⑨コミュニティスタッフ緑化グループ	⑩絵本の会ぼけっと	⑪紫苑の会銭太鼓	⑫ソーイングさざんか
⑬世代間交流絵をめぐす会	⑭ゆいまーる福ボランティア	⑮NPO法人にしよどにこネット	⑯スリーファイブ
⑰アロマボランティアRAISE	⑱歌体操サークル	⑲ReMove	⑳ティンカーベル
㉑NPO法人多文化共生センター大阪	㉒おもちゃ図書館おもちゃぼこ	㉓NPO法人西淀川子どもセンター	㉔遊楽の会
㉕なかよし会	㉖音訳サークルやまびこ	㉗笑っこ倶楽部	㉘点字サークルひかり
㉙Teamカメラ			

###### 《センター直属ボランティア一覧》(5グループ)

①保育ボランティアサロン	②ちよいボラおやじの会	③エコキャップ洗浄分別ボランティア	④センター情報誌発送ボランティア
⑤センター情報誌編集ボランティア			

#### (3) ボランティアの養成

##### ①課題（テーマ）別ボランティアグループの組織化

- ・ちよいボラおやじの会定例会（6回）
- ・保育ボランティアサロン（4回）

##### ②課題（テーマ）別ボランティア講座の開講



- ・男性ボランティア養成講座(5回)
- ・保育ボランティア養成講座(5回)
- ・災害ボランティア養成講座(2回)

#### (4) ボランティアに関する広報啓発活動

- ・登録の個人ボランティア、グループへセンター情報誌や資料の発送(12回)
- ・JR 御幣島駅構内・西淀川図書館・区内生涯学習関連施設にパンフレットラックを設置
- ・西淀川区社会福祉協議会ホームページに掲載
- ・区社協だよりにボランティア・市民活動センター情報の掲載

#### (5) 新たなネットワークの開拓・構築

- ・にしよどリンク（旧異業種交流会）（6回）
- ・交流カフェふくふく（5回）

#### (6) ボランティア市民活動センター運営委員会

- ・ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催（3回）

## 4 地域と連携した要援護者の見守りネットワークの強化

### (1) 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

見守り相談室の機能や役割について、地域住民・関係機関等へ周知を図りながら、地域福祉活動支援コーディネーターによる要援護者の把握や見守りネットワークによる専門的な対応を実施した。

#### 機能①「要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備」

行政が保有する要援護者情報を集約し、郵送・訪問により地域団体等への情報提供に係る要援護者名簿の整備を進めていくため、区内 14 地域に地域福祉活動支援コーディネーターを配置した。

平成 28 年度は、年 2 回（8 月・2 月）において計 3,128 名に対し、要援護者名簿に係る同意確認のための発送作業を行い、有効回答数(同意・不同意)は 1,543 名であった。また、訪問による同意確認は延べ 1,614 回行い、有効回答数（同意・不同意）は 601 名であった。

郵送による同意確認（件）		訪問による同意確認（件）	
発送数	3, 1 2 8	新規訪問	1, 6 1 4
回答数 (回答率 49%)	1, 5 4 3	回答数 (回答率 37%)	6 0 1
同意	1, 2 2 3	同意	4 0 4
不同意	3 2 0	不同意	1 9 7

### 《地域への名簿提供》

川北地域においてワークショップを開催し、地域活動協議会、民生委員協議会に対し名簿提供を行った。

### 機能②「孤立世帯等への専門的対応」

見守り支援ネットワーカーが、孤独死防止のための要援護者へのアウトリーチや制度の狭間の相談ニーズへの対応等専門的支援を実施した。

相談延べ件数（件）		相談属性内訳（件） ※実数	
訪問による相談	363	要介護・要支援高齢者	234
電話による相談	573	要介護・要支援以外の高齢者	17
来所による相談	139	身体障がい者・児	32
その他	25	知的障がい者・児	4
合計	1,100	精神障がい者・児	11
「		発達障がい者・児	0
		難病	0
		引きこもり	12
		ごみ屋敷	1
		生活困窮者	22
		子育て中の保護者	2
		その他（65歳未満、障がいなし）	6
		合計	341

「

### 機能②「専門的支援事例紹介」

#### 【概要】

独居、ひきこもりの35歳男性。地域の賃貸住宅の家主より、住人が自殺をほのめかしており対応に窮していると民生委員を通じて区役所に相談。保健福祉センターより見守り相談室に支援の依頼を受ける。本人状況確認のため家主夫妻、地活協会長、民生委員立ち合いのもと訪問。本人は、約3年前に母親を亡くし、身寄りはなく、その頃より勤めていた仕事を辞め、ひきこもりがちとなった。家主からは、家賃もこれまで滞ったことはなかったが、この数ヵ月滞納していることがわかる。

短期的支援として、自殺を防ぐことを目的として、見守り相談室による定期訪問を行い、また地域においては、地域福祉活動支援コーディネーターや民生委員、近隣住人の協力のもと夜間等の見守り協力を依頼。長期的支援として、背景に金銭的困難による生活苦が想定されるため、生活保護および就労支援に繋ぐことを視野に入れ、保健福祉センターを通じて区役所と連携した支援を行うこととなった。

#### 【結果】

約2ヵ月間の継続訪問を中心に、家主も交えた話し合いを数回実施する。本人の状況や自殺願望は当初と変わらぬまま、電気も止まり、家主側から退去通告をされ、本人の承諾を得てキーパーソンとなりうる伯母にも連絡をするが、伯母の支援も期待できない状況であった。

本人の生活を維持するための電気・水道・ガスのライフラインがすべて絶たれた追い詰められた状況になり、本人の口から「死ぬことよりも、生きることで頑張っ

てみようと思う。まずは働きたい」と前向きに気持ちを伝えてくれるようになり、当面の生活を安定させることを目的として生活保護受給と就労支援に繋げた。

現在も就労支援などを含めた生活相談にも対応している。

### 【事例のポイント】

- ・見守り支援ネットワークによる、安否確認を目的とした継続的な訪問活動（アウトリーチ）を通じた本人との信頼関係の構築。
- ・保健福祉センターとの連携による、生活支援や弁護士専門相談（家主側としての相談）など利用可能な資源の活用。
- ・家主、近隣住民、民生委員、地域福祉活動支援コーディネーターなど、地域での情報共有による見守り協力依頼。

### 機能③「認知症高齢者等の行方不明時の早期発見」

認知症等による行方不明者の早期発見に向けた事前登録や、捜索に協力できるライフライン事業者や民間事業者などの協力者の開拓を行い、行方不明発生時に協力者へメールによる情報配信を行った。

(1) 平成28年度事前登録者 59人（延べ64名）

(2) 配信数 106件

＜内訳＞広域（市外・府外）	12	件
市内	35	件
区内	59	件

### (2) 地域の見守り活動の支援（見守りネット倶楽部）

地域の会議等に参画し、見守り活動や、ニーズの早期把握のための仕組みづくりについて提案し、地域住民自らが困りごとを相談し合える地域づくりの推進を図る。

- ・地域で主体的に見守り活動を行う団体の会議への参加し、活動状況の把握とともに見守り活動の支援として、そのポイントなどの説明を行った。
- ・医療・福祉・介護等の専門職に対し、地域における見守りネットワーク強化事業についての事業説明を行い、地域と専門機関との連携に向けた橋渡しを行った。
- ・社会福祉講演会において、オレンジトークにパネリストとして参加し、地域での見守り活動などについて広く一般区民に対して周知を行った。

## 5 生活困窮者自立相談支援事業（相談支援）

### (1) 相談状況

#### ①新規相談件数

(件)

相談受付総数		338	
う	性別	男性	171
		女性	162
		不明	5
ち	年齢	～10代	5
		20代	24
		30代	36

	40代	69
	50代	77
	60～64歳	31
	65歳～	87
	不明	9

## ②相談経路

相談経路	件数
本人（来所）	240
本人（電話・メール）	3
家族・知人（来所）	6
家族・知人（電話・メール）	0
自立相談支援機関が把握	3
関係機関・関係者紹介	75
その他	15

## ③相談内容

相談内容	件数
病気・けが	28
障がいについて	5
障がい（疑い）について	5
その他メンタルヘルスの課題	8
住まいの不安定について	13
経済的困窮について	75
（多重・過重）債務について	13
家計管理の課題について	12
就職活動が困難なケースについて	23
就職定着が困難なケースについて	24
生活習慣の乱れについて	0
社会的孤立（ニート・引きこもりを含む）について	2
家族関係・家族の問題について	4
中卒・高校中退について	1
ひとり親について	1
外国籍について	1
コミュニケーションが苦手	4
本人の能力課題について（識字・言語・理解等）	3
その他	2

## （2）アウトリーチの実施

### ①相談者等への家庭訪問・同行支援

- ・相談者等への家庭訪問・同行支援 103回
- ・相談者等が同行しない関係機関等訪問 221回

《訪問先》

民生委員協議会、地域福祉活動連絡会、障がい者地域自立支援協議会、社会福祉施設連絡会、民生委員の自宅、ふれあい喫茶、高齢者食事サービス、学習支援教室きらきら、西淀川インターナショナルコミュニティ他、各連携関係機関など。

## ②川北地区出張相談会開催回数及び相談件数

- ・川北地区出張相談会 10回
- ・出張相談会における相談件数 9件

## ③講演会及び特別出張相談会

子どもの貧困及び日本語が出来ずに孤立している外国籍の人々が抱える課題に対し、講演会と母国語による出張相談会を行った。

- ・6月26日『出張相談会 in フェスタ・ジュニーナ』（相談件数1件）
- ・8月22日 講演会『西淀川区にお住まいの外国にルーツをもつ人たち』（参加者26名）
- ・12月16日 講演会『地域における子ども支援について』（参加者39名）
- ・3月12日『外国にルーツをもつ人々との相談会』  
スペイン語による相談（予約相談2件 当日相談4件）

## （3）就労支援

就職者数 38件

## （4）区民への周知

生活自立相談・就労支援窓口の周知について、チラシの配布や区役所広報紙に掲載した。また、区内の各種団体や区社会福祉協議会における理事会・評議員会、各地域で実施されている「ふれあい喫茶」「高齢者食事サービス」等の地域活動や、連合振興町会を通じた班回覧のほか、病院や郵便局、銭湯、スーパーマーケット、障がい者の日中活動施設等にもチラシ設置を依頼した。

## （5）事業の成果

①制度の狭間で孤立し困窮する相談者の複合的な困難課題を把握・分析・整理し、専門機関等と連携し、具体的に解決できた。

### 【相談事例】

- ・コミュニケーションの障がい引きこもりの方(30代・男性)に対し面接相談を重ねて関係性を築き就労支援により仕事に就くことができたケース。
- ・病気により障がい残り廃業した方(50代・男性)に対して、障がい福祉の制度を利用して就労継続支援施設へつなげ収入の確保ができたケース。
- ・DVで他県から避難してきた方(40代・女性)の親子に対し、生活保護で生活が安定するまでの狭間の期間に支援を行ったケース。

- ②個別支援だけでなく、地域の民生委員やふれあい喫茶、高齢者食事サービス等の活動と連携し、相談者が支援後も地域住民とつながることができるように積極的に努めた。
- ③生活困窮といった課題を通して地域づくりをめざし、障がい福祉・高齢福祉・児童福祉・医療等これまで縦割りになりがちであった分野と横断的な連携を図ることができた。

## (6) 今後の課題

引きこもりの長期化で就労のタイミングを逃したり、親の介護のために離職したまま親の年金収入のみで生活したりと、潜在的な生活困窮者に対してのアプローチを行い自立支援へつなげること。

## 6 あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方が地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービス等利用援助、金銭管理サービス、預かりサービスを行った。

		(前年度件数)
・平成 28 年度末 サービス利用件数	79 件	(73 件)
・契約締結件数	21 件	(11 件)
・契約解約件数	15 件	(22 件)
・初回相談受付件数	33 件	(47 件)

### ①事業実施状況

実利用者人数	認知症高齢者等	41人
	知的障がい者等	20人
	精神障がい者等	15人
	その他	3人
	合計	79人
利用希望状況（3月末）	認知症高齢者等	3人
	知的障がい者等	0人
	精神障がい者等	2人
	その他	0人
	合計	5人
研修会・関係会議等への業務説明		1件

### ②年間個別談援助件数／相談述べ件数 4,952件

相談件数	電話・来所	
	認知症高齢者等	1,143件
	知的障がい者等	806件

		精神障がい者等	641件
		その他	176件
		合 計	2,766件
相談件数	訪問		
		認知症高齢者等	1,078件
		知的障がい者等	512件
		精神障がい者等	490件
		その他	106件
	合 計	2,186件	
委任契約締結件数			
	認知症高齢者等	13件	
	知的障がい者等	3件	
	精神障がい者等	2件	
	その他	3件	
	合 計	21件	
委任契約終了件数			
	認知症高齢者等	14件	
	知的障がい者等	1件	
	精神障がい者等	0件	
	その他	0件	
	合 計	15件	

## 7 在宅福祉サービスの運営

### (1) 通所型介護予防事業

高齢者にいきいきとした暮らしを維持して自立生活を続けていただくことを目的として「複合型プログラム」・「閉じこもり等予防」の2事業を実施した。

#### ①複合型プログラム (1クール20回)

クール数	実人数	延人数
15クール	79人	1,182人

#### ②閉じこもり等予防事業 (なにわ元気塾)

校 区	二次予防参加者	一般参加人数	開設回数
柏 里	119人	126人	12回
野 里	67人	33人	12回
歌 島	84人	51人	12回
香 簀	113人	76人	12回
竹 島	22人	79人	12回

佃	269人	16人	12回
大和田	92人	35人	11回
千舟	40人	42人	12回
姫里	135人	47人	11回
姫島	131人	131人	12回
福	86人	41人	12回
大野百島	24人	62人	12回
川北	43人	102人	12回
出来島	56人	141人	12回
合計	1,281人	982人	166回

## (2) 通所介護・介護予防通所介護事業（デイサービス）

介護保険サービスとして通所による食事・入浴・送迎・健康チェック・レクリエーション・生活相談等のサービスを提供した。

①開所日 246日

### ②実績数

要介護状態区分	平成29年3月31日現在 登録者数	年間延利用者数
要支援1	1人	69人
要支援2	4人	300人
要介護1	4人	262人
要介護2	9人	815人
要介護3	4人	340人
要介護4	3人	239人
要介護5	2人	91人
合計	27人	2,116人
食事サービス提供者数		2,116人
入浴サービス利用者数		2,089人

## (3) 居宅介護支援事業（4月から8月）

介護保険制度における居宅介護支援事業者として介護認定（要介護1～5）を受けられた方と契約し、居宅で快適な生活が維持できるよう相談援助を行った。



### 年間ケアプラン作成数

ケアプラン作成数	要介護1	48件
	要介護2	31件
	要介護3	24件
	要介護4	1件
	要介護5	12件
	合計	116件

## 8 地域包括支援センターの運営

地域の高齢者の皆さんが安心して暮らしやすいために必要に応じて介護・福祉・保健・医療等のサービスが提供されるように支援した。

★基本情報(住民基本台帳人口データ (当該年度の9月末現在より))

\* 西淀川区地域包括支援センター圏域人口

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
総人口	55,087人	54,886人	54,572人
高齢者人口	12,812人	13,114人	13,393人
高齢化率	23.3%	23.8%	24.5%

### ①総合相談業務

地域高齢者の実態把握や虐待への対応等含む権利擁護等総合的な相談支援を行った。

### 【地域包括支援センターにおける総合相談実績】

		平成27年	平成28年
総合相談延べ件数	訪問による相談	781件	884件
	電話による相談	3,177件	3,291件
	来館による相談	407件	420件
	その他	215件	155件
合計		4,580件	4,750件
うち認知症疑いあり		2,020件	2,056件
相談実人数		622人	635件
	うち認知症疑いあり	199人	198件
	訪問による相談実人員	245人	300件

## 【相談内容】

相談の多い順	平成27年度	平成28年度
1	介護予防サービス	経済・生活問題
2	経済・生活問題	介護サービス
3	保健・医療サービス	介護予防サービス
4	成年後見制度	保健・医療サービス
5	虐待	福祉サービス

	平成27年	平成28年
地域ケア会議（個別ケース、ふり返り、課題抽出含む）	40回	35回
サービス利用調整会議（虐待の判断、支援方針）	32回	36回

## ②地域におけるネットワーク構築

各関係機関と共に高齢者支援、認知症予防等の啓発を行った。

### 【関係機関・組織等とのネットワーク活用。地域住民への啓発活動】

	平成27年	平成28年
総合相談連絡会（ランチ連絡会）	18回	14回
包括連絡会	12回	14回
在宅医療多職種連携	12回	12回
認知症サポーター養成講座参加	10回	7回
地区民生委員協議会への参加	17回	14回
介護者家族の会「ひまわり」への参加	10回	12回
男性介護者の会「ひょうたんの会」発足	4回	10回
4者連絡会（子ども、障がい、区社協、包括）	4回	4回
医療ソーシャルワーカーとの懇談会開催	1回	2回
地域住民への啓発活動（当センター及び総合相談窓口PR）		
介護予防教室	11回	4回
ふれあい食事サービス・喫茶への参加	19回	14回
老人クラブ会への参加	14回	4回

## ③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者の生活を支えるケアマネジャーを支援、また各関係機関とも連携しスキルアップのための研修も開催した。

	平成27年	平成28年
介護支援専門員個別相談件数	1,006件	882件
居宅介護支援事業者連絡会・研修会の開催参加	20回	21回
高齢者虐待防止合同研修他	2回	2回
居宅介護支援事業者への出張相談（2事業所）	4回	4回
グループホーム連絡会	5回	3回
地域密着型サービス運営推進会議への参加	7回	21回

#### ④介護予防のケアマネジメント（要支援1・2）

ケアプラン作成		平成27年	平成28年
	包括作成件数	1,733件	924件
	一部委託作成件数	6,236件	7,246件
	合計	7,969件	8,170件

## 9 老人福祉センターの運営

西淀川区における高齢者福祉の拠点施設として、区役所をはじめ当法人が運営する地域包括支援センター、地域活動支援部門と密接に連携するとともに、区内各種団体からの支援、協力を得ながら、高齢者の生きがいと健康づくり、そして社会参加について必要なサービス・情報を提供した。老人福祉センターでは、60歳以上の高齢者を対象に、年間を通じ、健康・生きがいづくりを目標としての講座を開催し、利用者による自主サークル活動への支援を行い、又、サークル参加者による区内福祉施設でのボランティア活動に対しても支援した。

### ①利用者数

開館日数	292日
延利用者	30,956人
一日平均利用者	106.3人
団体利用者	2,124人

### ②年齢別利用者数（団体利用者は除く）

(人)

60～69歳		70～79歳		80歳以上		その他		計		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
2,188	3,715	5,744	11,247	2,917	2,808	13	200	10,862	17,970	28,832

### ③団体利用状況

(人)

団体名	回数	男	女	計
老人クラブ	56	263	475	738
その他	40	787	599	1,386
計	96	1,050	1,074	2,124

※その他：佃地域活動協議会 等

### ④各種講座実施状況

(人)

事業名	回数	男	女	計
各種教室	22	37	475	512
いちよう学園	4	11	91	102

手作り体験研修会	1	1	133	134
骨盤体操	6	12	149	161
計	33	61	848	909

※各種教室：手作り・干支作り・七宝焼き・折り紙・男の料理教室 等

### ⑤合同事業実施状況

公的機関、各種団体、NPOと連携・協働した事業

事業名	回数	男	女	計(人)	備考
ふれあいフェスティバル(2日)	2	149	599	748	老人クラブ
歯科講演会	1	3	23	26	歯科医師会
おとなのてらこや(認知症予防)	12	4	371	375	NPO
計	14	156	993	1,149	

※その他、大阪市保健所との連携による結核健診 等

### ⑥世代間交流事業実施状況

利用者によるボランティア活動、区事業への連携。

事業名	回数	男	女	計(人)
こども囲碁教室	54	132	200	332
に～よん文庫(区事業)	56	35	138	173
計	110	167	338	505

※その他、淀商業高校、地元小学児童との交流も行った。

### ⑦定例・特別行事実施状況

利用者へ相互交流とサークル活動発表の場を提供した。

事業名	回数	男	女	計(人)
お楽しみ会	3	33	148	181
お誕生会	4	9	82	91
その他	209	515	3,463	3,978
計	216	557	3,693	4,250

※その他：年忘れ会・歩こう会・社会見学・囲碁将棋大会等を行った。

### ⑧サークル活動状況

生きがいと健康づくりのため、全23サークルが活動し交流した。

サークル名	回数	男	女	計(人)
民踊	29	0	499	499

フラダンス	57	0	1,270	1,270
カラオケ	47	195	1,460	1,655
上記以外のサークル	786	1,894	14,284	16,178
計	919	2,089	17,513	19,602

※上記以外のサークル：歌体操・編物・歩こう会・生花・楽しい歌広場・楽謡会・水彩画・カメラ・コーラス・詩吟・習字・手話・俳句・パッチワーク・フォークダンス・ペン習字・太極拳・リズム体操・歌声喫茶・3B体操

## 10 子ども・子育てプラザの管理運営

「子育て活動支援事業（児童健全育成事業、地域関連事業含む）」と「地域子育て支援拠点（つどいの広場）事業」を通じて、乳幼児期の親子や子育て支援関係者、就学期の子どもたちが集い交流する機会を提供し、地域福祉活動の推進を図った。

### （1）子育て活動支援事業

#### ①子育て情報の収集、管理、提供

- ・プラザだよりの発行 90, 545部 73ヶ所
- ・ホームページを随時更新

#### ②地域の自主的な子育て活動への支援

- ・子育てボランティア養成講座 4回2クール 延べ79人
- ・ファミサポ子育て支援ボランティア講座 24時間講座 延べ26人
- ・子育てサロン・サークル及び支援者サークルへの後方支援 1回 27人
- ・大型遊具の貸し出し 1回 20人

#### ③子育て中の親子の支援

- ・相談件数 65件
- ・子育て支援講座 101事業 105回 7, 187人（自由遊び含む）  
※英語であそぼう、親子でお菓子作り、リラックスヨガ、ハロウィンパーティー、クリスマスかい、パパの子育て支援事業、プレママ・プレパパ講座等

#### ④児童健全育成

- ・体験活動等 38事業 50回 8, 005人（自由遊び含む）  
※おやつ作り教室、工場見学、ミニ夏まつり、ハロウィンパーティー、クリスマス会等

#### ⑤地域関連事業

- ・姫里地域お花見会、区民まつり、もちつき大会等 11事業 2, 831人

#### ⑥区事業

- ・絵本展への協力、地域子育てサロンへの協力、に～よん文庫への協力  
23回 2, 797人

## ⑦一般利用

- ・登録団体：子育てサークル0団体、一般グループ12団体、大阪市利用1団体  
408回 4,882人

### <登録者数>

乳幼児	保護者	小学生	中学生	高校生	合計
975人	737人	481人	68人	8人	2,269人

## (2) ファミリー・サポート・センター事業

「大阪市ファミリー・サポート・センター西淀川支部」として、子どもを預けたい人と預かりたい人が会員登録し、仕事や急用時に子どもを預け、互いに子育てを支え合う活動支援事業を行った。

### ①サブリーダー会議 「活動状況と課題」等 5回

### ②会員数と活動件数

	依頼会員数	提供会員数	両方会員数	ペア数	活動件数
西淀川支部	94人	38人	14人	136	523件

## (3) 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）

0歳～おおむね3歳未満の子どもと保護者を対象に、週5日、交流の場としてお部屋を開放し、講習や相談業務等を行った。

### ①交流の場の提供と促進

- ・参加人数 13,163人
- ・開設日数 242日

### ②相談と援助

- ・相談件数 425件

### ③子育て支援講習

- ・実施回数 20回
- ・参加人数 959人

※バルーンアート、プラレールであそぼう、らくがきをしよう、おみせやさんごっこ、親子で運動あそび等

### ④ブックスタート

- ・実施回数 13回
- ・参加人数 296人